



埼玉学習センターだより

放送大学埼玉学習センター

〒330-0853  
さいたま市大宮区錦町682-2  
大宮情報文化センター内(受付:10階)

TEL 048-650-2611  
FAX 048-650-2615  
<http://www.ouj.ac.jp>

さきたま



主  
な  
内  
容

- P 1. 平成22年度第2学期入学者の集い
- P 2. 平成22年度第1学期卒業証書・学位記授与式
- P 2. 生涯学習奨励賞授賞式
- P 3. 第4回埼玉フェスタ
- P 4. 今年度で開催された公開講演会
- P 4. 学生研修旅行記
- P 5. サークル紹介 (面影の会・未来の会)
- P 6. 客員教授ご紹介
- P 7. 教務・図書室・視聴学習室・事務室からのお知らせ
- P 8. 各種お知らせ

10/3

平成22年度第2学期入学者の集い  
・サークル紹介・履修相談会

平成22年度第2学期入学者の集いが、10月3日(日)に埼玉学習センターの講堂において実施されました。埼玉学習センター所属の入学者885名のうち134名が出席し、同窓会有志による学歌斉唱、毛利所長及び森岡同窓会代表の祝辞、教務係長の履修方法、総務係長の学習センターの利用についての説明など、皆さん熱心に耳を傾けていました。

引き続き、場所を9階に移し、サークル紹介、学習相談会を実施しました。参加した10団体がサークルの展示に工夫を凝らし、勧誘をしていました。

また、学習相談会では、生涯学習奨励賞受賞者に協力を依頼し、センター教職員と共に相談に対応しました。



毛利所長祝辞



森岡同窓会代表祝辞

9/26

## 平成22年度第1学期

# 卒業証書・学位記授与式

平成22年度第1学期卒業証書・学位記授与式が9月26日(日)に埼玉学習センターの講堂において挙行されました。

式典には、埼玉学習センター所属の卒業生82名のうち45名が出席し、埼玉同窓会有志の伴奏・コーラスの協力による放送大学学歌斉唱の後、毛利所長から1人ひとりに卒業証書・学位記が授与され、続いて「生涯学習奨励賞」の受賞該当者9名のうち出席された6名に、賞状と記念品が授与されました。授与後、毛利所長から祝辞があり、次いで埼玉同窓会森岡会長から祝辞を頂き、滞りなく式典は修了しました。

式典終了後には埼玉同窓会主催による祝賀会が催され、在学中の苦労話や、楽しかった面接授業、多くの仲間と出会えたサークル活動などの思い出話で楽しいひとときを過ごしました。



## 生涯学習奨励賞授与式

埼玉学習センターでは平成19年度第1学期卒業・修了生から、センターにおいて定めた複数の専攻数を卒業・修了された方に対し表彰することとしております。

平成22年度第1学期卒業・修了生からは次の方々が表彰されました。



### 4 専攻卒業生(銀賞) 3名

菊池	紀夫	様
鈴木	悟	様
廣瀬	誠	様

### 3 専攻卒業生(銅賞) 6名

榊原	敏子	様
五十嵐	健次郎	様
田澤	貴志	様
岡安	孝一	様
佐々木	みつる	様
高橋	三夫	様

10/9  
10/10

# 第4回埼玉フェスタ

今年度の大学祭「第4回埼玉フェスタ」が、埼玉CSC交流会によって10月9日(土)・10日(日)の2日間で開催されました。放送大学 石学長による講演会「郵政民営化のゆくえ」の他、各サークルの活動状況発表、趣向を凝らした多彩なイベント、バザー、個人作品の展示、お茶席等が設けられました。学生、同窓生のみならず、ご家族、ご友人、他学習センターの方や一般来場者の方との交流を深め、放送大学への理解を深めていただくことができました。



受付のご案内



学長による講演会



オカリナ演奏



社交ダンス体験



個人作品の展示



サークル紹介



落語 柳家喬の字さん



お茶席での抹茶とお菓子



俳句・川柳大会投句箱

## 22年度実施された公開講演会



7月10日(土) 13:30～ 78名参加  
**「宗教と資本主義 ヨーロッパとアメリカ」**  
 講師 吉森 賢 放送大学客員教授・横浜国立大学名誉教授



8月21日(土) 13:30～ 130名参加  
**「織田信長と桐紋・菊紋」**  
 講師 堀 新 共立女子大学教授



9月11日(土) 13:30～ 119名参加  
**「話して伝える楽しさ 苦しき」**  
 講師 宮田 修 元NHKアナウンサー・熊野神社宮司



10月9日(土) 13:30～ 122名参加  
**「郵政民営化のゆくえ」**  
 講師 石 弘光 放送大学長・一橋大学名誉教授

▶▶次回の公開講演会は8ページにご案内しています

10/26

研修旅行に行ってきました



十月二十六日(火)に学生三十五名、教職員五名が参加して『上州絹の国を訪ねる』と題し、群馬県への学生研修旅行が行われました。先ず行きバスの中では、予習として安達先生が作成した研修旅行地「10の質問」から始まりました。旧富岡製糸場では操糸場を中心に見学し、ガイドさんの説明を熱心に聞き入り、活発な質疑が交わされました。



群馬県自然史博物館では、常設展のほか『石になつたものの記録』の企画展と一緒に小学生共々、目を輝かせていました。一の宮貫前神社は、全国的に珍しい参道を下つた低地に社殿がある構造で、拝殿には江戸に描かれた極彩色鮮やかな天井画が素晴らしいです。あつとも充実していた一日でした。

# サークル紹介

## 面影の会

「面影の会」は、平成元年に発起し、平成三年六月十四日正式な学生団体として認可され、同人雑誌『氷川文学』（初期は季刊誌『氷川』）を年二回、六月と十二月に発行しております。俗に言う三号雑誌で終らせないで二十年もの間継続してこられたのは多くの方がご支援くださり、原稿をお寄せ下さったからにはほかありません。

人の記憶は歳月を重ねるに従い衰えて曖昧になってゆきますが、その時々感動した出来事や空想したことを文章にして書いておけば、たとえ何年経った後であろうともその一文に触れると誰でもたちまち思い出がタイムスリップして記憶は蘇ります。読むものによっては胸の高まりを抑えきれなくなり戸惑いを覚えた人は数多くいるかも・・・。

《継続は力》を信じながら『氷川文学』は創刊号から数えていつの間にか第四十二号を数え、主だった学習センターに送呈していることもあって、全国から原稿が寄せられるようになりました。初心の希求である人との輪が少しでも広がってゆくことは、嬉しさ一入は言うまでもなく感謝の気持ちで一杯です。

会では、『氷川文学』を発行するたびに会員はもとより執筆者の皆さんへご案内を出し、掲載した作品についての合評会（発表会）を懇親会も兼ねて催しています。場所はその時々季節や雰囲気にあった所を探して決めており、時には旅の宿で夜を徹してやることもあります。

今、「面影の会」では、できるだけ多くの人に逡巡することなく参加して戴き、最近では胸襟を開いて作家論あるいは、文学論を丁々発止する機会が少なくなっていることでもあり老若男女世代を超えて語りあいたいといつでも門戸を開きお待ち致しております。

URL <http://hikwabungaku.web.fc2.com/>

なお、写真は『盆栽四季の家』で合評会を催した時のものです。



## 未来の会

会長 嶋崎 洋明

平成18年4月から活動を開始し黒澤英典先生（武蔵大学名誉教授）を顧問に招き初代会長高野 罔昭氏が今日の礎を築き、平成21年10月1日付で放送大学に登録した。

会の主旨は《『孤独に学び、孤独に帰る』を打破し、共に学びながら、未来を創造して大学生生活を楽しく有意義にする。》事を目的に設立された。

会の主な活動は、黒澤先生の講演（年2～3回）・絵手紙教室（月1回・第3火曜日埼玉学習センター講義室）・新年会・四季折々に懇親会の開催・ミニコミ誌を年2回発行、会員相互の学習に寄与する。会員は31名（平成22年10月1日現在）



今年の第4回埼玉フェスタでも「絵手紙教室」を開催好評にて終了しました。

# 新客員教授のご紹介



佐々木 照央  
専門分野  
ロシア文学・思想史

外国語、本国語をとわず、言葉の習得には可能不可能がある。私は、幼い時には広島弁、九州弁をしゃべっていた。18歳の時から標準語なるものを話し始めた。だがいまだにその標準日本語が不得手である。かといって、九州弁が自由にしゃべれるか、といえどもまったくできない。日本語で書かれたものを読むのにはおおむね不自由なのだが、自分の知らない分野の事は聞き取れないし、読んでも理解できない。これは何を意味するか？ 会話とは慣れであり、親しんだ知識である。習慣も知識もない環境で、会話力を磨くのは本国語でさえ無理である。

外国語の修得も同じことだ。やみくもに会話力の向上を至上目的にするのではなく、その前に自分の置かれている環境で可能なことをまず目指すべきである。自分が関心ある分野での読み書きと聞く力は相手がいなくても努力次第で向上可能である。NHKのラジオ語学講座は朝起きてから出勤時まで何十年も聴き続けてきた。ただし、ある程度内容のある話が可能な言語は極わずか、英語とロシア語、そしてエスペラントぐらいである。他の言語はよほど切迫した必要性が生じた時に数日間詰め込めば、日常生活用の会話ぐらいはなんとかなる。

今エスペラントを教えている。文章を読み作文するための文法知識を短期間で習得させる。そこまでは出席者全員が到達できる。課題はその後である。さらに伸びるには自分が面白いと思う分野の文献をその言葉で多読精読し、聴き、辞書を片手に日記や手紙を書く。そして時々その言葉を使う祝祭に参加する。その習慣をずっと続けることができるか否か。それができれば必ずものになるが、できなければ中途半端で終わる。「学びて時に之を習う、亦よろこばしからずや」、言葉学習の秘訣は『論語』の冒頭の文句につける。



佐藤 一彦  
専門分野 低温物理学

本年8月より埼玉学習センターの客員教授を仰せつかりました佐藤一彦と申します。埼玉学習センターでは「身近な電気・磁気の科学」と言う面接授業を昨年より担当しておりますが、面接授業を行って特に印象に残ったことは放送大学の学生さんの熱意です。昨今「理科離れ」ということが広くマスコミに流布されていますが、放送大学の学生さんの熱意が広がっていけば決して日本の将来も悲観したものではありません。その一端を何らかの形でサポートしていけるようにがんばっていきたくて思っております。

さて私の行っている研究について簡単に紹介させていただきます。私は「低温物理学」というものに長年携わっております。物質を低温に冷却しますと熱エネルギーによる乱れが少なくなり、高温では見えなかった物質の本質がしばしば明らかになる現象が見られます。簡単に言ってしまうと、物を冷やして何かおもしろいことは起こらないかということをやってきたわけですが、そのなかでも私は特に「超伝導」や「磁性」に注目して研究を続けてまいりました。

「超伝導」という現象が発見されたのは今から99年前のことですが、この分野では私が学生の時分には想像も出来なかったような新物質がいまだに次々と発見され続けており、物理学全体で見ても最も研究が活発な分野の1つです。これまで培ってきた経験を元に、皆さんが科学の面白さ・楽しさを理解していただける助けに少しでもなればと考えております。どうぞよろしく御願ひ致します。

## 引き続きよろしくお願ひいたします

松崎先生、安達先生はそれぞれの専門分野のみならず、学習の進め方や卒業研究やレポート作成など学習全般について、更に学生生活その他幅広い分野にわたり、相談に応じますのでお気軽にご相談ください。

### ～電子メールでの学習相談申込方法～

質問は下記の項目をテキストメールで、下記の項目番号・内容を下記のうえ送信願ひします。

相談内容は、全て学内情報として管理し、相談者と担当職員以外には公表いたしません。＜秘密厳守です！＞



松崎 博  
専門分野 分子生物学

宛先 [saitama-sc@ouj.ac.jp](mailto:saitama-sc@ouj.ac.jp)  
件名 【学習相談】(学生番号 氏名)



安達 忠夫  
専門分野 ドイツ・北歐文学

#### ～項目番号 内容～

- ①【学生番号】 ②【氏名】 ③【学生の種類】
- ④【電話番号(自宅)】 ⑤【電話番号(携帯)】
- ⑥【メールアドレス】 ⑦【相談希望者】 教員名・事務職員等
- ⑧【相談の目的】 ⑨【相談・質問項目】 (何をどこまで相談したいか、知りたいかを具体的に箇条書きで記載してください。)

#### ～注意事項～

なお、通信指導・単位認定試験・大学入試問題内容、各種申込、面接授業レポート提出、本学と関係ない内容、或いは担当者が不適切と判断したものは、対応致しかねますのでご了承ください。

また、ファイルが添付されたメールは送信をご遠慮ください。(添付ファイルがあるメールは開封いたしません。)

## 教務からのお知らせ

### 平成22年度第2学期単位認定試験について

#### ○大学院の試験

平成23年1月21日(金)・22日(土)

#### ○学部の試験

平成23年1月23日(日)～1月30日(日)  
〔1月24日(月)及び1月28日(金)を除く〕

本部から直接送付される受験票で、科目・日時・試験室等を確認し、同封の「単位認定試験受験に際しての注意事項」をよく読んでから受験してください。

なお、平成22年度第2学期に登録した科目と再試験科目が同一試験日・時限となる場合は、いずれか1科目を選択して受験することとなりますので、ご注意願います。

### 平成23年度第1学期の科目登録について

平成23年度第1学期の科目登録は

#### ①システムWAKABAでWEB登録の場合

平成23年2月8日(火)～3月3日(木) 18:00まで

#### ②郵送の場合

平成23年2月8日(火)～3月1日(火) 大学本部 必着

郵送提出後は、変更は一切できませんのでご注意ください。

## 共修生制度について

埼玉学習センターでは、生涯学習機関として広く社会人等に大学教育の機会を提供するという放送大学の役割を踏まえ、面接授業について「共修生」を受け入れることとしました。大学教育を体験したい方や放送大学を生涯学習の場として活用したい方又は本学の学生で当該授業の科目登録を行っていないが、単位修得を目的とせず、知識・教養を深めるために受講を希望する方を対象としています。

**受入科目：**正規の科目登録受付の結果、空席がある科目のみの募集となります。

**募集期間：**基本的に当該学期の初めから当該面接授業の最初の日の前日までです。

**受講申込：**受講を希望する方は、「共修生受講申込」を窓口へ提出してください。なお、申込書はホームページからダウンロードすることもできますのでご利用ください。

**受講料：**1科目につき5,500円です。

**注意事項：**共修生として面接授業を聴講した場合、本学の単位は修得できません。

## テレビ科目のインターネット配信について

放送大学では、学生の皆様へのサービス向上を目指し、テレビ授業科目のインターネット配信実験として、現在計42科目(夏季集中科目4科目を含む)の配信を実施しています。

また、一般視聴者の方にも平成22年10月1日より、授業科目の一部(テレビ授業科目4科目、ラジオ授業科目8科目、特別講義5番組)を「オープンコースウェア(OCW)」からインターネットで公開しています。

## 図書室・視聴学習室からのお知らせ

○図書室・視聴学習室ご利用の際には、必ず学生証の提示をお願いいたします。

○入室の際、学習に必要なもの以外は持ち込まないでください。鞆や飲食物の持ち込みは禁止です。どうしても必要な場合には、カウンターでビニールの手提げ袋を貸出しています。係員に声をかけてください。

○貸出図書の返却期限を必ず守ってください。更新を希望される場合、やむを得ず返却日に間に合わない場合などは、早めにご連絡をおねがいたします。手続きがない場合、次回の貸出が一定期間出来なくなることもありますので、ご注意ください。

◎1月21日(金)から単位認定試験が始まります。下記の期間は貸出停止期間となりますのでご注意ください。

★1月7日(金)～1月30日(日)まで(図書資料)

★1月14日(金)～1月30日(日)まで(放送教材)

#### ◎テレビ科目DVD貸出について

平成22年度2学期より、2008年度以降開講されたテレビ科目に限り、DVD貸出が開始されました。なお、2007年度以前に開講されたテレビ科目は今まで同様ビデオテープのみとなります。

図書室及び視聴学習室の利用方法は【学習センター利用の手引】(ピンク色の冊子)を参照してください。

## 事務室からのお知らせ

10月より事務職員が交代いたしました。

この度、家庭の事情により土日勤務が困難になり、突然ではありますが退職することとなりました。全科履修生でもありますので埼玉学習センターで見かけましたら、お声を掛けて下さい。

宮崎 美紀江

10月から教務係に採用されました。窓口の1番手前に座っています。どうぞお気軽にお声をかけてください。

勝山 佳子

## ●平成23年度第1学期放送大学学生募集

### 学生募集

平成23年度第1学期教養学部「全科履修生」「選科履修生」「科目履修生」及び大学院文化科学研究科「修士選科生」「修士科目生」の学生募集を下記の日程で行います。皆さんの友人・知人にも放送大学の素晴らしさ、学ぶことの楽しさを伝え、一緒に学友になりませんか！

#### 教養学部

- 全科履修生
- 選科履修生
- 科目履修生

#### 大学院

- 修士選科生
- 修士科目生

出願方法は、①インターネット出願、または②郵送出願(本部)のいずれか一つの方法でお願いします。従来行っていた、学習センターへの郵送・持参による出願は廃止となりましたのでご注意ください。

#### 出願期間

平成22年11月15日(月)～平成23年2月28日(月) 必着

※インターネット出願は平成23年2月28日(月)24時で受付終了となりますのでご注意ください。また、全科履修生の証明書類等提出は2月28日必着です。詳細は埼玉学習センターにお問い合わせください。

各

種

お

知

ら

せ

### 大学説明会

埼玉学習センターでは、下記の日程にて大学説明会を開催いたします。知人・友人の方等周りに放送大学に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら是非ご案内をお願いいたします。お申込はセンターに電話でお願いいたします。(048-650-2611)なお、当日直接お越しの方も歓迎いたします。

第1回	平成22年	12月18日(土)	} いずれも 14:00～16:00
第2回	平成23年	1月15日(土)	
第3回		2月12日(土)	
第4回		2月20日(日)	

内容◆放送大学概要説明◆卒業生体験談◆センター見学◆面接授業見学◆個別相談

### 公開講演会

埼玉学習センターでは、今年度開講25周年記念として、下記日程で公開講演会を予定しています。本学学生、同窓生はもちろんのこと、一般の方も参加できますので、ご家族やお知り合いの方もお誘いください。

平成22年12月19日(日)

「新しい都市居住の形ー  
マンション問題の今後を考える」  
本間 博文(放送大学副学長)



平成23年2月6日(日)

「超弦理論とはどんなものか」  
米谷 民明(放送大学教授)



いずれも、13:30～15:00  
場所：埼玉学習センター 8階講堂  
定員：先着100名(参加無料)

講演会に参加希望の方は、埼玉学習センターへ電話でお申し込みください。

### サロン まつざき

学生以外でもどなたでもご参加いただけるサロンのご案内です。教員と学生などの皆さんとの架け橋です。授業とはひと味違った専門から身近な話題までを取り上げ紹介すると共に皆さんと気持ちを分かち合うひとときです。学生の皆さんはもちろん、どなたでも歓迎します。少しでも関心のある方はお時間の許す限り、お気軽にご参加下さい。

「至福の香りをたどる」

日時：平成23年2月9日(水) 13:30～14:30

場所：放送大学埼玉学習センター第二講義室

話題提供：客員教授 松崎 博(分子生物学)